

予算の繰越使用の報告について

平成27年度藤沢市下水道事業費特別会計の繰越使用について、別紙繰越計算書のとおり報告する。

2016年（平成28年）6月6日提出

藤沢市長

鈴木 恒 夫

報告理由

平成27年度藤沢市下水道事業費特別会計の繰越額を使用するので、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告する。

参 考

地方公営企業法 抜粋

（予算の繰越）

第26条 予算に定めた地方公営企業の建設又は改良に要する経費のうち、年度内に支払義務が生じなかつたものがある場合においては、管理者は、その額を翌年度に繰り越して使用することができる。

2 前項の規定による場合を除くほか、毎事業年度の支出予算の金額は、翌事業年度において使用することができない。ただし、支出予算の金額のうち、年度内に支出の原因となる契約その他の行為をし、避け難い事故のため年度内に支払義務が生じなかつたものについては、管理者は、その金額を翌事業年度に繰り越して使用することができる。

3 前2項の規定により予算を繰り越した場合においては、管理者は、地方公共団体の長に繰越額の使用に関する計画について報告をするものとし、報告を受けた地方公共団体の長は、次の会議においてその旨を議会に報告しなければならない。

平成 2 7 年 度 藤 沢 市 下 水 道 事

1 地方公営企業法第 2 6 条第 1 項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額
1 下水道事業 資本的支出	1 建設改良費	南部処理区管渠建設事業	203,597,200		203,597,200
		大清水浄化センター建設事業	32,000,000	10,000,000	22,000,000

業費特別会計予算繰越計算書

(単位 円)

左の財源内訳			当年度 損益勘定 留保資金	不用額	翌年度繰越額に 係る繰越を要す るたな卸資産の 購入限度額	説明
特定財源						
国県支出金	地方債	その他				
	69,200,000		134,397,200			騒音及び振動低減 対策の検討・調整 等に不測の日数を 要したため
6,572,000	15,300,000		128,000			委託先において契 約手続に時間を要 したため